

ぶどうのカーテン取り組み情報



5月5日 紙パックに土を入れ挿し木した剪定枝の芽が膨らんでいます。希望者に配りました。



5月26日 左の方にゴーヤを植えたタイミングでネットを張りました。3年～7年目の株は、順調に育っています。



7月1日 向かって左側が主にゴーヤ。右側がぶどう。



8月16日 右側のぶどうは屋根まで伸びています。ゴーヤは日照不足のためか、この時期には珍しく下の方はすでに黄色くなってきています。



8月16日 ぶどうの実も育っています。10月初旬まで少しずつ収穫して美味しくいただきました。



9月2日 全景

お名前	芦澤 公子（富士川町）		
ぶどうの種類	ベリーA、スチューベン（ゴーヤも実施）		
設置場所	母屋の南面		
カーテンの大きさ	高さ：約 4 m, 幅：約 8 m	取り組み年数	7年目

緑のカーテンの効果

- ・緑のカーテンの左半分は主にゴーヤで、右半分はぶどう（セミナーでいただいたもの＋挿し木して増やしたもの）10本となりました。
- ・今年は6月、7月は日照不足が心配されましたが、ぶどうは3月末から芽を出して花も付けたため、日照不足の影響は受けず、しっかり茂って2階まで伸び、実も30房くらい付けました。（ゴーヤは、5月末にプランターに定植したので、6月7月の日照不足の影響を受けて、例年のように厚くは茂りませんでした。2階までは伸びました）。
- ・1階は冷房がないので、扇風機だけ。朝は、ひんやり感じられるときもありました。扇風機を回したのは、5～6日だけでした。
- ・今年はぶどうのカーテンのある側の部屋は、ゴーヤのカーテンのある側の部屋より余計に涼しく感じられました。家の中から眺める、日を透かした黄緑色のカーテンは、癒し効果たっぷりです。
- ・挿し木をして無事に芽が出た約20本の苗は、欲しい方に差し上げて緑のカーテンとして育ててもらっています。追跡調査をしたいと思います。
- ・1階に冷房のない我が家では、緑のカーテンのない夏は考えられません。緑のカーテンは毎年育てる習慣になっています。

育てる際の工夫・苦労

- ・植物の選定…ぶどう2本（ベリーA、スチューベン）は、県の研修会の時にいただいた物です。
古い株のぶどうは、スチューベンと山ぶどうです。スチューベンは、甲府市のセミナーでいただいたもので、剪定枝を挿し木して増やしてきました。
- ・土作り…市販の土と、生ゴミをプランターで発酵させた堆肥で最初に土作りをしました。
- ・水や肥料…ぶどうは、ほとんど水やりだけで、追肥は、化成肥料を1度、少量行っただけでした。
- ・病害虫対策…病害虫は付きませんでしたので、手がかかりませんでした。

感想・楽しみ方など

- ・今年もぶどうのカーテンのお陰で、夏を涼しく過ごせました。
- ・ぶどうの実はお盆ごろから10月初旬まで大事に収穫していただきました。
- ・ぶどうのカーテンの有効性について、学習会の講師活動の時に、パワーポイントや、紙媒体では写真を見せて広く紹介しています。
- ・ぶどうが緑のカーテンになることには皆さん驚きますが、大変興味を持ってくれます。ぶどうの緑のカーテンが広がることを望みます。